

「石碑や海岸の地形から学ぶ関東地方を襲った大地震」をテーマに、平成 27 年 8 月 17 日と 8 月 18 日に、千葉県館山市と南房総市で開催しました。1923 年関東地震および 1703 年元禄地震による隆起地形の観察や、それぞれの地震に関して記されている石碑の見学等の野外での活動、講師の宍倉正展氏（産業技術総合研究所）による講義とともに、参加者に満足して頂くことができました。



見物海岸（館山市）における隆起地形やヤッコカンザシの観察



繰り返し発生する大地震の度に隆起して形成された平磯（館山市）の海岸段丘を登る



威徳院（南房総市）を訪れて、1703 年元禄地震の碑から学ぶ



宍倉氏の講義を聞いて、野外で観察したことの理解が一層深まる（館山市菜の花ホール）

平成 28 年度は、8 月 8 日（月）・9 日（火）の 2 日間、和歌山県北部を舞台に開催します。テーマや詳しい行程は、4 月中旬までに HP でご案内します。27 年度に引き続き、教員免許状更新講習との同時開催になります。